

九州民放クラブだより

おっと殿中でゴザル!

小林 允 (RKB)

2月3日、生まれて初めて博多祇園山笠で有名な櫛田神社の節分豆撒きに参加した。

小生、戌年生まれの歳男、先ず神事の正装の袴を着け、次いでお祓いを受けて身が引き締まった。しかし、階段の下りで慣れない袴の裾を踏んでよろけてしまった。まさに殿中!

さて、ようやく5m上の舞台上に登る。下には福に預かるうとする人が一杯。私は福を授ける幸運の使者、この場に集う人々に福が授かりますよう祈つて、豆を撒いた。



初めての節分豆撒き (中央が筆者)

上から見ると、中には福を独り占めしようと豆を袋に詰め込む人

もいる。

人生初めての豆撒き、きつと私にも今年は福が訪れるに違いない。

そして、この素晴らしい機会を与えて下さった友人とそのご家族にも福が訪れることをお祈りしたい。感謝!

春の探し物

林 欣子 (TNC)

民放クラブの「朗読奉仕グループ」は、創立28年になる。毎月第2・3水曜日は勉強会。杉山明男さん (RKB) の指導で山本一力の時代小説に取り組んでいる20数名の写真を、この紙面の為に撮ろうとしたら、スマホが無い! ガラ携からスマホに変えて五日目。電車に乗った時はあつたような気がするの、福祉プラザに来た時にあつたかどうか全く記憶にない。認知症の始まりか? どうしよう...

パニクル私を助けてくれたのは朗読の仲間達、ドコモの相談センタ-に連絡してストップして貰った。購入時には教えてくれなかった。失くしたら「まず自分の番号に電話をする」拾った人がいれば

応答がある。「4桁の暗証番号を覚えておく」GPSで位置が分かる等。「ドコモさん早く言つてよう!」頼りになる朗読の仲間感謝! なので写真は無しである。

今年八十四歳

元氣いっぱい年男

伊藤 忠孝 (OBS)

私は昭和33年(戊戌)に入社。再雇用を含めて古希(七十歳)を迎えた年に離職しました。

人生節目の年、還暦古希までは元気に働き、全て仕事を辞めてから今年は二回目の年男を迎えることが出来ました。尚、我が家の愛犬(雌の豆柴)は戌年生まれの十二歳です(人の年齢だと六十四歳)。これまで可能な限り毎日散歩に行き、犬のお蔭で足腰を鍛える運動にもなり犬に感謝している。

自宅の近くには、市街地を展望出来る丘の上に大分市の美術館があり、周りには遊歩道のある公園



公園を散歩中

で空気も良く、人や犬の散歩には最適です。

古希を過ぎてからの健康管理については年一回、指定病院で定期健康診断を実施し現在に至る。

平成17年、右目の視力低下が判明、眼科での検査結果は白内障。左目も多少白内障があり、右目を手術したあと半年後に左目の手術を実施する。

次に平成19年、内視鏡による胃の検査で癌の疑いと診断され、精密検査の結果は早期癌と判定。摘出手術(下部二分の一)。

平成23年には、肺のCT検査で右肺に影を発見、精密検査の結果は肺の腺癌と診断され、摘出手術(右肺の十分の一)。胃癌と肺癌は、定期健康診断で早期発見となり、切開による摘出手術だったので、術後も問題なく回復しました。

平成26年には無事傘寿を迎えることが出来ました。

八十歳を過ぎてゴルフ等が出来ることは、犬の散歩のお蔭かな? 最初のエイジシユートは七十六歳の時(グロス76)でした。二回目以降は八十歳を過ぎてから六回目。ゴルフは月一〜二回、これからも健康で元氣いっぱい頑張ります。